

2019年4月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年6月14日

上場会社名 MIC S化学株式会社
 コード番号 7899 URL <http://www.c-mics.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 原 正常

TEL 0561-39-1211

定時株主総会開催予定日 2019年7月26日

配当支払開始予定日

2019年7月12日

有価証券報告書提出予定日 2019年7月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期の連結業績(2018年5月1日～2019年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期	2,535	0.9	80	13.2	85	14.5	53	24.7
2018年4月期	2,512	1.5	92	46.3	99	45.5	70	43.8

(注) 包括利益 2019年4月期 48百万円 (31.5%) 2018年4月期 71百万円 (49.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年4月期	10.16		1.7	2.2	3.2
2018年4月期	13.49		2.2	2.6	3.7

(参考) 持分法投資損益 2019年4月期 百万円 2018年4月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年4月期	3,884	3,197	82.3	610.19
2018年4月期	3,826	3,200	83.6	610.85

(参考) 自己資本 2019年4月期 3,197百万円 2018年4月期 3,200百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年4月期	152	74	61	1,357
2018年4月期	147	80	64	1,342

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年4月期		5.00		5.00	10.00	52	74.1	1.6
2019年4月期		5.00		5.00	10.00	52	98.4	1.6
2020年4月期(予想)		5.00		5.00	10.00		91.9	

3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,333	6.6	24	18.3	25	21.8	13	37.4	2.48
通期	2,705	6.7	84	4.9	86	0.9	57	7.0	10.88

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年4月期	5,850,000 株	2018年4月期	5,850,000 株
期末自己株式数	2019年4月期	610,606 株	2018年4月期	610,606 株
期中平均株式数	2019年4月期	5,239,394 株	2018年4月期	5,239,394 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年4月期の個別業績(2018年5月1日～2019年4月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期	2,451	0.6	76	12.4	81	14.8	51	22.8
2018年4月期	2,436	1.8	87	48.0	95	46.6	67	45.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期	9.88	
2018年4月期	12.80	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年4月期	3,829	3,174	82.9	605.89
2018年4月期	3,771	3,179	84.3	606.83

(参考) 自己資本 2019年4月期 3,174百万円 2018年4月期 3,179百万円

2. 2020年4月期の個別業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,291	6.5	25	23.5	13	41.6	円 銭
通期	2,620	6.9	82	0.7	55	6.2	2.48
							10.50

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境の改善傾向を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、通商問題の動向が世界経済の減速要因となることが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、新規顧客開拓活動を進め、特に非食品分野の開拓に注力してまいりました。その結果、食品分野の売上高は減少したものの、非食品分野の売上高が増加したことから、売上高は25億35百万円（前連結会計年度比0.9%増）となりました。

利益につきましては、原油・ナフサ市場が高水準で推移しているなか、効率的な原材料購入を推進してきましたが、原材料の高騰や運送費の上昇等から、営業利益は80百万円（前連結会計年度比13.2%減）となりました。また、受取配当金等を加えた経常利益は85百万円（前連結会計年度比14.5%減）、減損損失4百万円の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は53百万円（前連結会計年度比24.7%減）となりました。

売上高を用途別にみますと、食品用途では、惣菜用のセントラルキッチンへの開拓により学校給食や介護食、弁当用などが増加、農産用の規格袋が増加したものの、前連結会計年度に増加した畜産用が減少、長引く漁獲高減少の外的要因から水産用が大きく減少したことなどから、14億90百万円（前連結会計年度比0.1%減）となりました。

非食品用途は、医療分野での輸液外袋が減少したものの、産業分野での機械・電子部品関連での需要が好調で、5億62百万円（前連結会計年度比3.6%増）となりました。

商品等につきましては、突き刺し強度の高いフィルム（SPパック）は減少するも、ラミネート品や脱酸素剤の仕入商品が増加したことや子会社での受託加工売上増加により、4億83百万円（前連結会計年度比1.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は23億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が55百万円、原材料及び貯蔵品が33百万円増加したものの、電子記録債権が12百万円、有価証券が3億円減少したこと等を反映したものであります。固定資産は15億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億60百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が2億96百万円増加したものの、機械装置及び運搬具が40百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、38億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は6億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が44百万円増加したこと等を反映したものであります。固定負債は26百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。これは主にリース債務が3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は6億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、31億97百万円となり、前連結会計年度末日より3百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益53百万円及び剰余金の配当52百万円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し、当連結会計年度末には13億57百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億52百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益81百万円、減価償却費1億3百万円等の増加要因がありましたが、売上債権の増加42百万円、たな卸資産の増加48百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は74百万円(前年同期は80百万円の使用)となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入が3億円あったものの、有形固定資産の取得による支出73百万円、投資有価証券の取得による支出3億1百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は61百万円(前年同期は64百万円の使用)となりました。

これは主に、配当金の支払額52百万円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しとしましては、不安定な為替相場や原油価格の変動などによる影響が懸念され、その動向は当社の経営を大きく左右する要因の一つであります。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期的展望として

『パイオニアブランド復活』をスローガンに掲げました。

基本戦略は以下の通りです。

- ①機能商品の開発で新たなビジネスの柱を構築
- ②製品品質向上で既存の市場シェアを死守
- ③海外販路を含めた新たな顧客の開拓と拡大
- ④営業力強化
- ⑤リソースの有効活用

主な重点施策として以下を進めております。

- ①高機能フィルムでライフケア分野へ参入
- ②有望ディーラーに注力、新規獲得チャレンジ営業の継続
- ③既製主力製品の商品性能改良の継続
- ④10年先を見据えた経営資源の積極活用

上記の取組みを着実に推進し、さらにお客様のご要望に応えられるサービスを持続的に提供していくことにより競争力を維持強化し、更なる飛躍を目指してまいります。

このような環境の中、翌連結会計年度(2020年4月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高は27億5百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は84百万円(同4.9%増)、経常利益は86百万円(同0.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は57百万円(同7.0%増)を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当連結会計年度 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,342,244	1,357,464
受取手形及び売掛金	621,993	677,633
電子記録債権	123,696	110,878
有価証券	300,196	—
商品及び製品	90,429	95,075
仕掛品	31,667	42,223
原材料及び貯蔵品	40,287	73,450
その他	19,281	10,494
貸倒引当金	△2,002	△2,111
流動資産合計	2,567,796	2,365,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	314,480	291,717
機械装置及び運搬具(純額)	211,542	170,794
土地	634,701	634,701
リース資産(純額)	9,154	4,056
建設仮勘定	—	34,413
その他(純額)	20,059	15,647
有形固定資産合計	1,189,939	1,151,330
無形固定資産		
その他	727	357
無形固定資産合計	727	357
投資その他の資産		
投資有価証券	35,079	331,806
繰延税金資産	17,632	17,272
その他	16,030	18,910
貸倒引当金	△457	—
投資その他の資産合計	68,284	367,989
固定資産合計	1,258,951	1,519,677
資産合計	3,826,747	3,884,787

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当連結会計年度 (2019年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,686	462,376
短期借入金	20,000	16,000
リース債務	5,506	3,504
未払法人税等	10,386	22,362
その他	140,326	156,928
流動負債合計	593,905	661,171
固定負債		
リース債務	4,380	876
役員退職慰労引当金	11,642	14,814
退職給付に係る負債	728	294
資産除去債務	10,500	10,500
その他	5,100	100
固定負債合計	32,351	26,584
負債合計	626,257	687,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	774,000	774,000
資本剰余金	1,150,310	1,150,310
利益剰余金	1,924,493	1,925,356
自己株式	△263,394	△263,394
株主資本合計	3,585,409	3,586,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,613	△1,708
土地再評価差額金	△387,533	△387,533
その他の包括利益累計額合計	△384,919	△389,241
純資産合計	3,200,489	3,197,030
負債純資産合計	3,826,747	3,884,787

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)	当連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)
売上高	2,512,191	2,535,811
売上原価	1,670,603	1,749,876
売上総利益	841,587	785,934
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	117,457	121,474
従業員給料及び手当	216,071	213,245
役員退職慰労引当金繰入額	3,801	3,171
退職給付費用	4,910	5,094
貸倒引当金繰入額	320	109
その他	406,778	362,787
販売費及び一般管理費合計	749,339	705,882
営業利益	92,247	80,052
営業外収益		
受取利息	2,117	535
受取配当金	1,286	1,351
受取保険金	2,845	1,681
受取補償金	1,445	2,779
その他	1,437	960
営業外収益合計	9,132	7,308
営業外費用		
支払利息	390	292
売上割引	1,333	1,486
固定資産除却損	65	387
営業外費用合計	1,788	2,166
経常利益	99,592	85,194
特別損失		
減損損失	—	4,008
特別損失合計	—	4,008
税金等調整前当期純利益	99,592	81,185
法人税、住民税及び事業税	25,350	27,568
法人税等調整額	3,561	360
法人税等合計	28,912	27,928
当期純利益	70,680	53,257
親会社株主に帰属する当期純利益	70,680	53,257

(連結包括利益計算書)

(単位 : 千円)

	前連結会計年度 (自 2017年 5 月 1 日 至 2018年 4 月 30 日)	当連結会計年度 (自 2018年 5 月 1 日 至 2019年 4 月 30 日)
当期純利益	70,680	53,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	738	△4,322
その他の包括利益合計	738	△4,322
包括利益	71,419	48,934
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	71,419	48,934

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2017年 5 月 1 日 至2018年 4 月30日)

(単位 : 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	774,000	1,150,310	1,911,446	△263,394	3,572,362
当期変動額					
剰余金の配当			△57,633		△57,633
親会社株主に帰属する当期純利益			70,680		70,680
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	13,046	—	13,046
当期末残高	774,000	1,150,310	1,924,493	△263,394	3,585,409

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,874	△387,533	△385,658	3,186,704
当期変動額				
剰余金の配当				△57,633
親会社株主に帰属する当期純利益				70,680
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	738	—	738	738
当期変動額合計	738	—	738	13,785
当期末残高	2,613	△387,533	△384,919	3,200,489

当連結会計年度 (自2018年 5 月 1 日 至2019年 4 月30日)

(単位 : 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	774,000	1,150,310	1,924,493	△263,394	3,585,409
当期変動額					
剰余金の配当			△52,393		△52,393
親会社株主に帰属する当期純利益			53,257		53,257
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	863	—	863
当期末残高	774,000	1,150,310	1,925,356	△263,394	3,586,272

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,613	△387,533	△384,919	3,200,489
当期変動額				
剰余金の配当				△52,393
親会社株主に帰属する当期純利益				53,257
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△4,322	—	△4,322	△4,322
当期変動額合計	△4,322	—	△4,322	△3,458
当期末残高	△1,708	△387,533	△389,241	3,197,030

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)	当連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	99,592	81,185
減価償却費	105,455	103,832
減損損失	—	4,008
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,355	3,171
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,427	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,400	△348
受取利息及び受取配当金	△3,404	△1,887
支払利息	390	292
売上債権の増減額(△は増加)	37,208	△42,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,676	△48,363
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,560	44,690
未払金の増減額(△は減少)	△3,742	15,527
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,904	6,669
未払費用の増減額(△は減少)	22,536	△469
その他	11,895	13,379
小計	198,607	178,866
利息及び配当金の受取額	4,582	3,249
利息の支払額	△390	△292
法人税等の還付額	—	2,922
法人税等の支払額	△54,859	△32,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,940	152,002
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△80,901	△73,876
投資有価証券の取得による支出	—	△301,195
有価証券の償還による収入	—	300,000
その他	433	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,468	△74,945
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,000	△4,000
配当金の支払額	△57,517	△52,329
その他	△5,506	△5,506
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,023	△61,836
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,448	15,220
現金及び現金同等物の期首残高	1,338,796	1,342,244
現金及び現金同等物の期末残高	1,342,244	1,357,464

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」14,876千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」17,632千円に含めて表示しております。

(セグメント情報)

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)	当連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)
1株当たり純資産	610.85円	610.19円
1株当たり当期純利益	13.49円	10.16円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当連結会計年度 (2019年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	3,200,489	3,197,030
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産(千円)	3,200,489	3,197,030
1株当たり純資産の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	5,239	5,239

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)	当連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	70,680	53,257
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益(千円)	70,680	53,257
期中平均株式数(千株)	5,239	5,239

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① その他の役員の変動

- ・新任取締役候補
取締役 高橋 英明 (現 営業部長)
- ・退任予定取締役
取締役 伊藤 久美

② 就任及び退任予定日

2019年7月26日